

那霸市長 宛

令和 7 年 9 月 25 日

団体名 COおきなわプロジェクト

共同代表者 安谷屋貴子、田中将太、浦崎直己

担当者 浦崎直己

「なは市民活動支援事業」

令和7年6月13日付け、那覇市指令市ま第1089号で交付決定の通知を受けた当該事業について、現時点での進捗を下記のとおり報告します。また、市ホームページへの掲載を承認し、中間報告会で他団体とも内容を共有します。

1.事業名	コミュニティ・オーガナイジングを活用した学生と地域・非営利活動団体による課題解決協働プログラム（モデルづくり）	
2.実施内容	<p>(何をいつ実施したか(事務局会議は除く)、対象者や実施場所など) 本事業の参加者＝団体：5団体（12人）、学生：6人</p> <p>①団体対象：集合研修「リーダーシップを引き出すコーチング」 7月27日10～12時半@なは市民活動支援センター会議室8 参加者数：9人</p> <p>②学生対象：集合研修「リーダーシップを引き出すコーチング」 7月27日14～16時半@なは市民活動支援センター会議室1 参加者数：8人</p> <p>③合同研修「非営利活動における関係構築」</p>	
3.事業を一言で表現すると	<p>(例：生活困窮世帯に食糧を配布することで、対象者が安定して食事が取れるように支援する。)</p> <p>学生と地域・非営利活動団体がCOを活用 —————— することで</p> <p>自発的な協働による那覇市の課題解決を実現 —————— する。</p>	
4.これまでの活動の振り返り	<p>【良かった点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者からの「参加してよかった」「学べてよかった」という肯定的な声が多く、プログラムを実施してよかった、ニーズとマッチしていたを感じている。 ・プログラム参加者が早速、普段の活動に学んだことを生かそうとチャレンジしている姿が見える。 ・プログラムを開発し、実践するというモデルづくりの目的はある程度達成できていると考える。 	<p>【改善点・今後につなげる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者をもっと増やしたかった。スケジュールや呼びかけの工夫、改善をしていきたい。詳しくは下記参照。 ・学生の夏休み期間におけるボランティア活動を軸にしたプログラムのスケジュールを組んだが、交付決定からの実施ではとてもタイトなスケジュールになってしまったほか、事前準備として、交付決定前からの参加の呼びかけや協力団体への打診なども検討すべきだったと感じる。次回以降は、この部分も想定して、取り組んでいきたい。 ・本プログラムでやりたいことをチラシ1枚で伝えてることが難しいと感じた。内容が伝わり、「参加したい」と思える発信コンテンツや媒体も工夫していきたい。

<p>5.今後の活動予定 (事業期間内又はすでに終了した団体については次の予定)</p>	<p>(何をいつ実施するか、対象者や実施場所、など)</p> <p>④合同研修「座学と実践の振り返り会」 10月25日13時半～16時半@なは市民活動支援センター2階 会議室1 対象：プログラム参加者全員</p>
<p>6.活動写真 (簡単な説明文を記入)</p>	<p></p> <p>(プログラム参加者募集のチラシ)</p> <p></p> <p>(団体向け研修の様子)</p> <p></p> <p>(学生対象の研修のワークの様子)</p> <p></p> <p>(合同研修のグループワークの様子)</p>
<p>7.今回の達成目標 (当初の事業計画書に記載した目標)</p>	<p>指標：目標値</p> <p>①CO研修・実践プログラムに参加する若者10名以上（大学生・高校生）：10人以上 ②非営利団体5団体以上の参画と協働体制の構築：5団体以上 ③研修（座学）+フィールド実践+振り返りという3段階のプログラム開発の評価（主催者の自己評価で必要性、有用性、持続性などを分析）：各プログラムの目標達成や仕組み化の成果が出ている ④参加者アンケートによる評価（プログラム有用度や、課題意識の醸成、肯定的な変化など）：肯定的な変化を7割以上が感じている ⑤受け入れ団体の「関係構築力」評価の向上：肯定的な変化を7割以上が感じている</p>
<p>8.現時点の目標達成度 (例：60%達成)</p>	<p>①参加学生数：6人 目標達成度 60% ②参加団体数：5団体 目標達成度 100% ③一定の成果が出ていると考えている ④7月27日の参加者アンケートでは回答者12人中12人が、参加してよかったです点や次のチャレンジについて記入。8月4日の参加者アンケートでは回答者8人中8人が、参加してよかったです点や次のチャレンジについて記入しており、肯定的な変化があったと考えられる。目標達成度60%以上 ⑤未集計。振り返り会を得て、今後集計</p>